

The World 世界の旅

このコーナーはエムトラをご利用のお客さまや、エムトラスタッフ(や、そのペット)から寄せられた世界の話を皆様に紹介するコーナーです。貴重な体験をお持ちの方はどうぞエムトラへ。

名犬モモ一匹旅「スペイン編」

*この物語はフィクションです。

拝啓、日本の皆様。モモは今、スペインへフラメンコ留学に来ています。本場のセビーリャで1週間。今晚が、記念すべき舞台デビュー。さあ、モモが大好きなシエスタの時間がきました。今一番お気に入りの場所を初公開。冬にはこたつになるの!夜に備えてお昼寝、とつ……。[Me llamo momo, Gracias!] (モモでした、グラシヤス!)夢の中で拍手喝采を浴びているモモなのでした…。



なかむらくの カボエイラ修行記①

エムトラ通のみなさん御無沙汰です。スリランカ散歩以来の連載、少しライター気取りです。スリランカ散歩以来といつてもあれから約5年が経ち、僕も、29歳。アラサーっす。いっぽしな大人の仲間入り…してるどころか歳とは反比例して散歩心は増す一方。あれ以降もエムトラマジックにやられっぱなしの僕は、オーストラリア、ヨーロッパの国々などをダラダラ散歩し、自分なりに必死で情熱を燃やせる何かを探しまくっていました。散々探しわざった挙げ句、結局地元金沢で出会ったカボエイラにドンはまり。魚が自然に本能で水の中を泳ぐように、今僕はカボエイラに情熱を注ぎ続ける日々を過ごしています。

カボエイラとはブラジルから生まれた伝統武術・文化ってな感じかな。

簡単に説明すると、昔々ブラジルのあるところにアフリカから黒人たちが連れて来られ、白い肌した支配者たちの命令により黒人たちは来る日も来る日も働かされ、時には支配者からの八つ当たり、ストレス解消じみた不条理な虐待も受け、まさに奴隸扱いの日々を送っていました。

黒人たちはそんなボコボコな毎日に嫌気が差し、反逆する術を身につけようと支配者からの目を盗んでは鍛錬を積むようになりました。

その時、あからさまにパンチやキックといった修行をすると、当然バレてボッコボコにされるため、踊りや音楽を取り入れ「踊ってるだけっすよ~」といわんばかりにカモフラージュしながら術を身に付けていました。

こういった黒人奴隸たちの反骨精神がカボエイラ誕生と深く関わっているわけなんです。だから、漠然と見たことある人たちからは「カボエイラってダンス?格闘技?」といった曖昧な感想をよく耳にします。

…とまあこういった感じのカボエイラというものにどんどん魅かれていた僕。ついに、自分のカボエイラを磨くため、カボエイラのインストラクターでマイハニーでもあるエミさんと共に、発祥の地ブラジル・バイア州サルバードへ散歩・修行(2:8)に行くことにしたのでした…。 <続く>



まるで日本の異空間!? 国内で過ごす休日 in 五島列島

3日間 ¥66,500~ (3名1室利用/大人1人あたり)

九州の最西端、5つの島を中心に大小約140の島々からなる、深い歴史を誇る地。緑碧の海を形成するアリス式海岸、50もの美しい教会が点在している風景は、どこを見ても絵になります。

民宿があり、漁船があり、一見すると日本の懐かしい素朴な田舎町…でも、の中にクリスチャンの暮らしが自然と溶け込んでいて、日本のように日本でない。ここはどこ…?と錯覚させる、不思議な空間。「祈りの島」と言われていることに納得です。ここでは「島時間」に合わせて、のんびり過ごしては?

太公望な方には、いい釣り場があります。星空を見ながら夜釣りも、おすすめ。

また、日本の3大うどんの一つは、五島のうどんであるというのをご存知ですか?

長崎は、ちゃんとほんだけではありません。五島グルメもお楽しみあれ。

1日目

小松空港 → 福岡空港 → 五島福江空港
到着後、フリータイム (五島泊)

2日目

終日フリータイム

3日目

五島福江空港 → 福岡空港 → 小松空港

*期間: 2009年10月30日発まで毎日

*利用航空会社: ANA

*利用予定ホテル: 五島コンカナ王国

*食事条件: 朝2回

*最少催行人員: 2名以上からお申し込みください

*企画・実施: ANAセールス株

*旅行代金に含まれるもの: 個人包括旅行割引運賃適用の往復航空運賃、規定の宿泊費・食事代

*旅行代金に含まれないもの: ホテル一空港間の移動費、フリータイム移動費等

往復どちらかで福岡に宿泊するプランもアレンジできます。詳しくはお問合せ下さい。

君は乗るのかそんなにしてまで

エムトラ流 "チャリスト"のススメ

パリ

セルフサービスシステム「ウェリブ」を利用してみよう。地元パリジャン、パリジェンヌながらに快走すれば、自然と「オ~♪シャンゼリゼ~♪」途中で見つけた露店でバゲットサンドとカフェオレを買って、セーヌ川のほとりでランチタイム。パリにきてよかった~!

コペンハーゲン

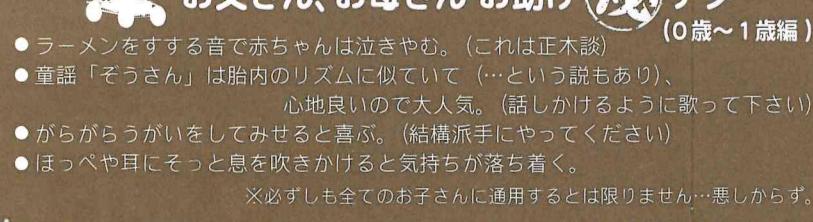
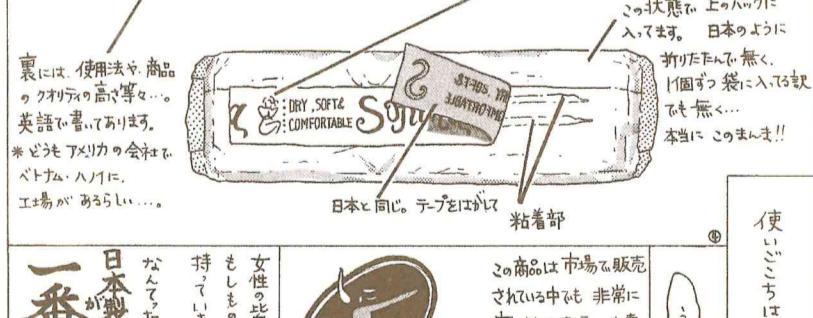
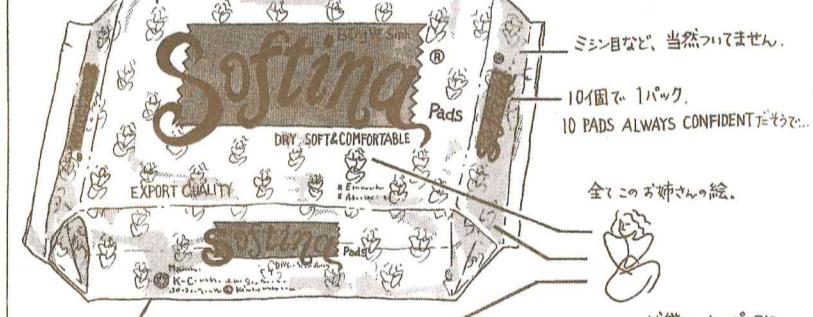
うれしい無料レンタルOK。賑やかなストロイエからちょっと入っていくと、和やかな雰囲気の中に瀟洒なショップが並ぶkompagnistr通りへ。偶然隠れた名店に出会えるかも。こんな小回りが利くのもチャリストならでは。

バリ島

多くの雑貨屋やレストランが軒を連ねるサヌールのダナウ・タンブリンガ通り。交通量が少なく、走りやすい。足が疲れたら、途中でマッサージのお店に寄るもし、ビーチサイドに停めてのんびり海を見ながら散歩するもし。ただし日焼け対策は万全に。

屋久島

平坦な道が少ないので、無理せずゆっくりと。緑の樹々の中を駆け抜けてマイナスイオンをたっぷり浴びれば、寿命が10年は延びる気がする。太古の森の中に目をやれば、ヤクシカやヤクザルと間近に遭遇できるかも。



スパイイスの虜

トリコ これを効かせたら、味も旅もぐっと深まります。

毎号1種類ずつ取り上げてご紹介。

第1回【シナモン】

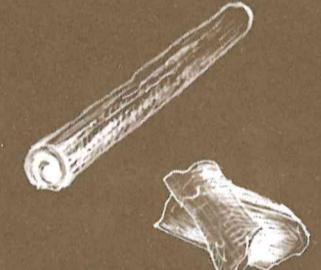
さて、第1回は皆さんお馴染みのシナモン(Cinnamon)です。原産はスリランカ。中国、タイやベトナムも主産地として有名です。

甘味を引き立てる香りで、砂糖との相性がよく、アップルパイなどの菓子の香りづけによく使われるでお馴染みですが、遅く紀元前4000年からある世界最古のスパイイスなんです。エジプトではミイラの防腐剤に使用され、また古代ギリシャで香水としても使っていたという由縁から、最愛の人への贈り物にされること多かったとか…。

お菓子以外にもカブチーノからカレーまで、ジャンルを超えて幅広く活躍。

効能も様々。鎮静作用、殺菌、防虫、解熱、疲労回復etc…さらに発汗作用も含まれていて、ダイエット効果も期待できるとか。だからといって、入れすぎは禁物。適量を守ってください。

昔、スパイイス輸出入の拠点となっていたトルコ料理にもシナモンは必需品。ミルクを使ったお菓子、サーレップの飲み物やボザ(穀類を発酵させた独特の飲料)などの大切なアクセントです。



自由気ままなトルコの旅

イスタンブル＆カッパドキア 7日間

¥128,000~ (2名1室利用/大人お1人様)

その魅力は、もう「トルコ的」としか言いようがないのです。

未だ色褪せないアヤソフィアのモザイク画、堂々とそびえ立つ宮殿内の白亜の門、大地の芸術品とも言える奇岩地帯。そのままに幾層にも築かれた迷路のような地下都市。あらゆるものが、この場所が過去に世界の中心であった歴史を物語っています。数千年にわたるトルコ史に思いを馳せて…いざ!

ご出発日: 2009年9月30日までの毎週日・金曜日

ご利用航空会社: 大韓航空

ご利用予定ホテル: エス・オー・エスホテル(洞窟ホテル)
グランドヤブス(イスタンブル)

食事: 朝5回、夕1回、機内食 適宜

最少催行人員: 1名 (1名参加の場合追加料金が発生します)

*空港税、燃料費、旅行保険料、エムトラベル手配手数料は別途お支払い頂きます。

*添乗員は同行しませんが、現地係員がお世話します。

(カッパドキア、英語、イスタンブル: 日本語)

*乗り継ぎ地での搭乗手続きはお客様自身で行って頂きます。

*出発日によっては逆回になる場合があります。

*追加料金等の詳細はお問合せ下さい。

1 成田または関空発ソウル乗り継ぎイスタンブル着【深夜】イスタンブルから空路カイセリへ。

到着後バスでカッパドキアへ。

カッパドキアでは人気の洞窟ホテルに宿泊。ごつごつした岩の壁、トルコ絨毯にアンティーク家具など、素朴で暖かみのあるものが多く、結構アットホームです。◆カッパドキア泊

2 【終日】フリータイム

見渡せど見渡せど変わった岩ばかり。

気球に乗って真上から眺めながら「私だけのお気に入り奇岩」なんか探してみたくなる。高いところが苦手な人は馬に乗って散策してみては。

観光後は、カッパドキア初のスパリゾートで奇岩風景を眺めながらのマッサージはいかが。至極です。

洞窟レストランでのディナーは、ベリーダンスとワインです

◆カッパドキア泊

3 【午前中】フリータイム

今も実際に洞窟内で暮らす人々の生活を見よ。

かつて迫害を逃れた人々の安住の地であったことを思いながら教会を訪れる、なんども神聖な気持ちになります。

【午後】バスでアンカラへ移動。

【夜】寝台列車・アンカラ特急でイスタンブルへ。◆車中泊

4 到着後、ホテルへ。その後フリータイム。

早速イスタンブルの味を求めて街へ。

ガラダ橋のたもとで食べるサバサンド。タンクを背負ったジュース売り。小さな屋台の焼きトウモロコシ。これぞ食べ歩き天国!

映画の舞台になつた地下宮殿のメデューサの顔は不気味な迫力…。

◆イスタンブル泊

5 【終日】フリータイム

ボスポラス海峡クルージングへ。

岸辺から小高い山の上まで建つ並ぶホテルのような豪邸。ナインチングホールがいた野戦病院。

ドルマバフチ宮殿やルメリヒサルの美しい景観。見上げるとかつてのシルクロードを結ぶ、2本の大橋…どこを見てもいい眺めです。チャイと一緒にゆっくり味わってください。

この時期のクルーズは風が気持ちいい。◆イスタンブル泊

6 出発までフリータイム

迷宮のようなグランドバザール。色彩豊かなスパイイスが圧巻のエジプシャンバザール。店主の人懐っこい笑顔と陽気なトークに、財布のひもが緩まないよう要注意!

【夜】イスタンブル発ソウル乗り継ぎ◆機内泊

7 【夜】→日本着

8 こんなプランも用意できます

イスタンブルでは、昔の偉人の邸宅チホテルもアレンジできます。規格居心地抜群で気配りの行き届いた暖をを感じられます。

ホテル例 フェニミペイホテル

オレンジの外観がかわいいチホテルや、テラスから一望できるブルーモスクや下町の向こうに広がるマルマラ海が自慢です。